

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 7 巻第 48 号

第 48 週(11月26日～12月2日)

発行年月日:平成19年(2007年)12月7日

発行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

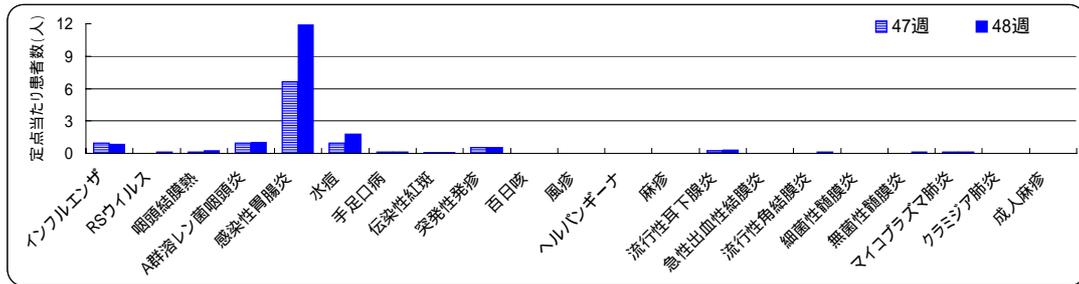
インフルエンザの流行期に突入(全国)
感染性胃腸炎の発生は急増
滋賀県における全数報告感染症の概要(平成19年第44～48週)

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、前週の報告数の約1.5倍増となっています。特に、感染性胃腸炎で急増しています。また、インフルエンザについては、全国の定点当たり患者数が流行開始の基準を上回ったためインフルエンザ流行期になりました。今週増加した疾患は咽頭結膜熱(プール熱)、A群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘等で、減少した疾患はインフルエンザです(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

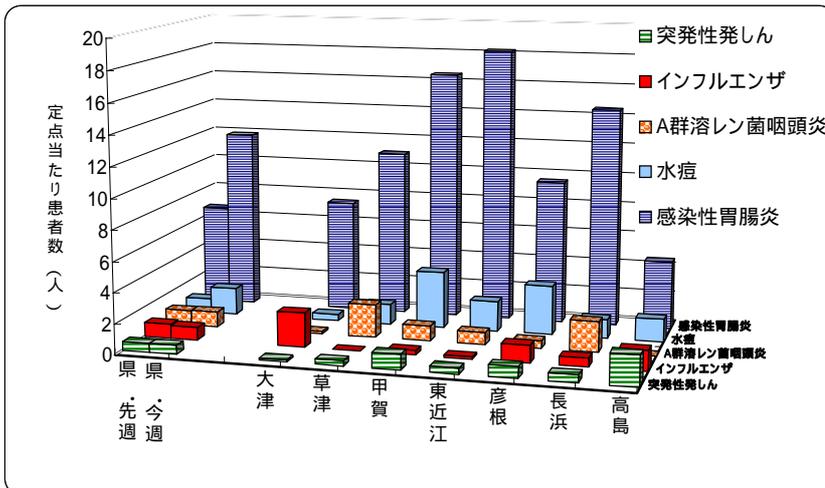
「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」によると、咽頭結膜熱(プール熱)では高島に警報が発生しています。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で4名、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症で1名および五類感染症のアメーバ赤痢で1名の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第48週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、水痘、A群溶レン菌咽頭炎、インフルエンザ、突発性発しんの順に多くなっています。

感染性胃腸炎は急増し、先週に引き続き甲賀および東近江ではさらに多くなっています。また、長浜では先週の約3倍増となっています。

感染性胃腸炎の予防について

1. 十分な手洗いをする(外出からの帰宅時、食事の前、排便後、オムツの処理時等には、せっけんを使用し、流水で10秒以上洗う)。
2. 食品(かき等)は十分に加熱調理する(食品の中心温度が85℃1分以上)。
3. 使用する調理器具(まな板、包丁、たわし、ふきん等)は、使用前および使用後に熱湯または次亜塩素酸ソーダ(キッチンハイター等)で十分に消毒する。
4. 患者との濃厚な接触を避ける。

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

平成18年12月8日に感染症法の一部改正が公布され、平成19年4月1日から施行されています。同法に基づき結核は二類感染症に、またコレラ、細菌性赤痢は三類感染症に分類されています。

感染症類型	疾患名	報告数 (48週)	累積報告数		平成18年報告数	
			滋賀 (48週)	全国 (48週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	4	163	17,495	-	-
三類感染症	コレラ	0	0	12	1	47
	細菌性赤痢	0	^{(*)2} 2	432	^{(*)3} 6	483
	腸管出血性大腸菌感染症	1	55	4,474	54	3,910
	パラチフス	0	1	19	0	24
四類感染症	E型肝炎	0	1	50	2	70
	A型肝炎	0	1	141	21	316
	デング熱	0	1	84	0	57
	マラリア	0	1	49	0	61
	レジオネラ症	0	7	599	11	508
五類感染症	アメーバ赤痢	1	14	709	8	738
	ウイルス性肝炎	0	2	214	0	275
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	4	132	0	177
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	90	6	107
	後天性免疫不全症候群	0	9	1,322	8	1,301
	ジアルジア症	0	1	49	1	87
	梅毒	0	2	656	4	625
	破傷風	0	0	87	1	115
	急性脳炎	0	2	204	1	160

*1:平成18年報告数は、平成19年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

*2:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

*3:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分2件を含みます。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第48週(11/26～12/2) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: デング熱 1例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 8例
二類感染症: 結核 236例	マラリア 1例	クロイツフェルト・ヤコブ病 6例
三類感染症: 細菌性赤痢 4例	レジオネラ症 7例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例
腸管出血性大腸菌感染症 39例	五類感染症: アメーバ赤痢 9例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2例
パラチフス 1例	梅毒 14例	破傷風 1例
四類感染症: A型肝炎 2例	ジアルジア症 1例	
つつが虫病 29例	ウイルス性肝炎 2例	

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点^{*}から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。^{*}疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成19年第43～48週、10/22～12/2)

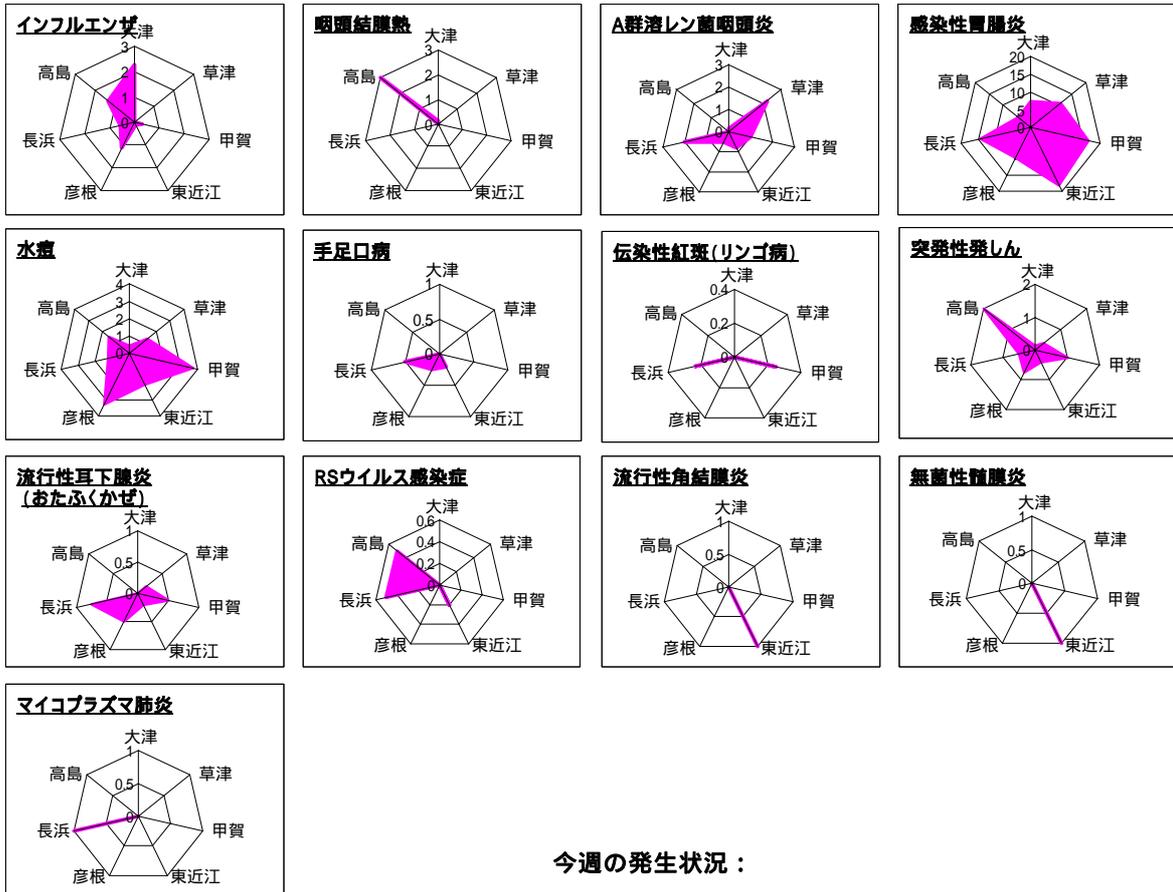
疾患名	定点当たり患者数(前週より増加 前週と同じ 前週より減少)						
	43週	44週	45週	46週	47週	48週	週
	(10/22～)	(10/29～)	(11/5～)	(11/12～)	(11/19～)	(11/26～)	44 45 46 47 48
インフルエンザ	0.28	0.38	0.32	0.30	0.94	0.83	
RSウイルス感染症	0.03	0	0	0.09	0	0.13	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.06	0.16	0.19	0.09	0.09	0.22	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.56	0.72	0.78	1.09	0.97	1.00	
感染性胃腸炎	4.31	3.19	4.47	6.81	6.63	11.88	
水痘	0.72	0.63	0.78	1.00	0.94	1.78	
手足口病	0	0.22	0.22	0.16	0.13	0.13	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0.03	0	0.03	0.06	0.06	
突発性発疹	0.28	0.53	0.41	0.53	0.56	0.56	
百日咳	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.19	0.16	0	0.09	0	0	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.19	0.44	0.34	0.47	0.22	0.28	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0	0.43	0.86	0.29	0	0.14	
細菌性髄膜炎	0.29	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	0.14	
マイコプラズマ肺炎	0.29	0.14	0	0.29	0.14	0.14	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0.14	0	0	0	0	0	

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第48週, 11/26~12/2)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.83	2.27	0	0.29	0.13	1.14	0.57	1.33	
RSウイルス感染症	0.13	0	0	0	0.20	0	0.50	0.50	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.22	0.14	0	0	0	0	0	3.00	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	0.14	2.17	1.00	0.80	0.50	2.00	0	
感染性胃腸炎	11.88	7.43	11.00	16.50	18.20	9.50	14.50	4.50	
水痘	1.78	0.43	1.33	3.75	2.00	3.25	1.25	1.50	
手足口病	0.13	0	0	0	0.20	0.25	0.50	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0	0	0.25	0	0	0.25	0	
突発性発しん	0.56	0.14	0.33	1.00	0.40	0.75	0.50	2.00	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.28	0	0.17	0.50	0.20	0.50	0.75	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.14	0	0	0	1.00	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	1.00	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加
 ■ は警報発生中
 ■ は注意報発生中
 0 2 4 6 8 10 12
 定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



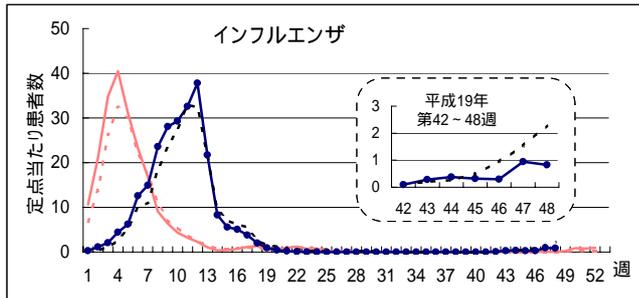
今週の発生状況:

- インフルエンザ-----県全体では先週よりやや少なくなっています。甲賀ではかなり減少していますが、彦根で急増しています。全国的にも流行期となっていますので、感染予防に対する注意が必要です。
- 咽頭結膜熱-----高島で非常に多くなっており、警報開始基準値(定点当たり患者数 2.0)を超えたため警報が発生しています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎---- 草津で急増しています。年齢別では4~6歳の報告が多く、全体の約70%を占めています。
- 感染性胃腸炎-----すべての保健所管内で先週より増加しています。特に、甲賀および東近江で多くなっており感染予防に対する注意が必要です。

滋賀県における全数報告感染症の概要(平成19年第44～48週、10/29～12/2)

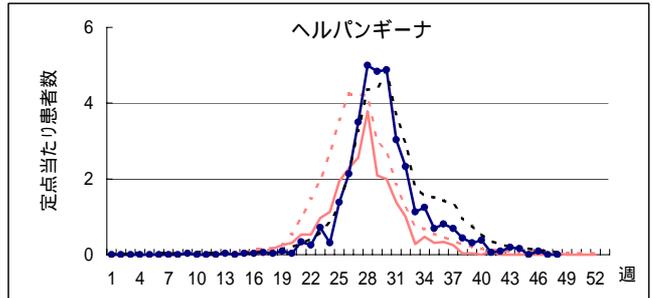
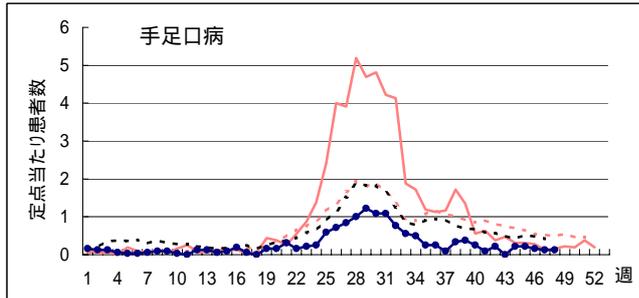
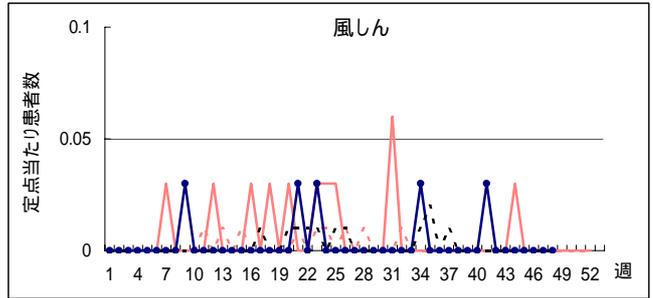
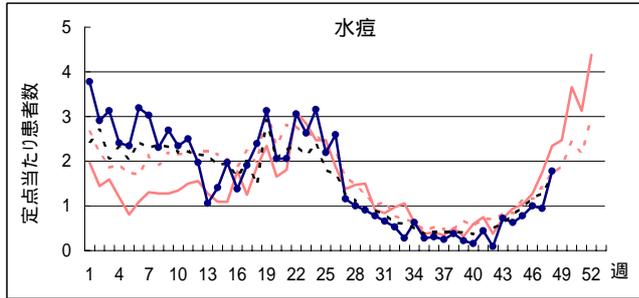
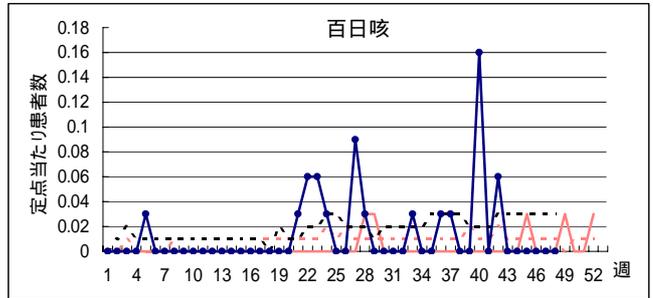
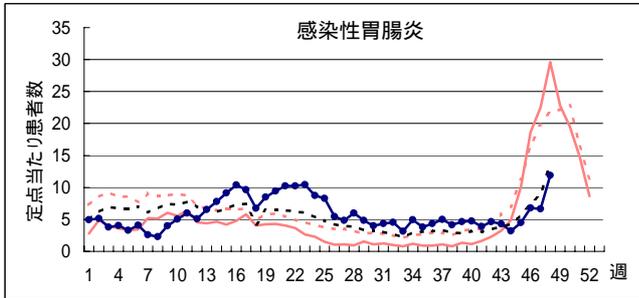
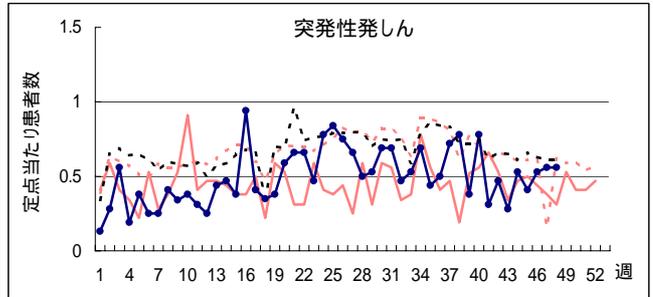
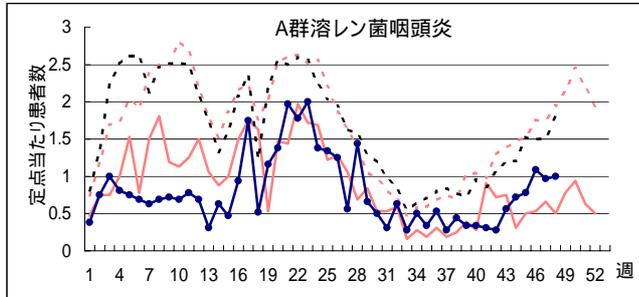
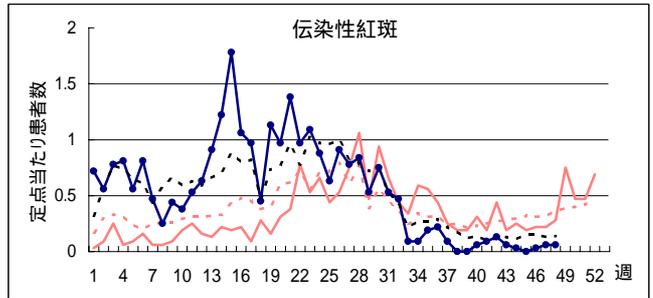
感染症類型	疾患名	1～43週の 累積報告数	44～48週の 報告年月日	概 要	
				菌種 血清型等	推定感染地域 推定感染源原因・ 感染経路等
一類感染症	報告なし				
二類感染症	結核	144	H19.10.30	肺結核	日本国内 その他
		感染症の改正 により、第4 週から累計	H19.11.1	結核性髄膜炎	日本国内 飛末 飛末感染
			H19.11.2	肺結核	日本国内 不明
			H19.11.1	結核性髄膜炎	日本国内 飛末 飛末感染
			H19.11.2	肺結核	日本国内 その他
			H19.11.9	肺結核	日本国内 不明
			H19.11.9	肺結核	日本国内 不明
			H19.10.25	肺結核	日本国内 飛末 飛末感染
			H19.11.12	肺結核	日本国内 飛末 飛末感染
			H19.11.13	肺結核	日本国内 不明
			H19.11.13	肺結核	ベトナム 飛末 飛末感染
			H19.11.15	肺結核	日本国内 飛末 飛末感染
			H19.11.15	肺結核	日本国内 飛末 飛末感染
			H19.11.16	肺結核	日本国内 飛末 飛末感染
			H19.11.16	肺結核	日本国内 飛末 飛末感染
			H19.11.16	肺結核	日本国内 飛末 飛末感染
			H19.11.20	リンノ菌結核	日本国内 飛末 飛末感染
			H19.11.21	肺結核	日本国内 飛末 飛末感染
		H19.11.27	肺結核	日本国内 不明	
		H19.11.30	肺結核	日本国内 飛末 飛末感染	
三類感染症	細菌性赤痢 (～H19.3.31は二類感染症)	2(*)	報告なし		
		(*)検査法第26条の8に基づく検出所からの検出結果への通知分件を含む			
	パチフィス (～H19.3.31は二類感染症)	1	報告なし		
	腸管出血性大腸菌感染症	51	H19.11.1	血清型: O157 産性毒素型: VT1(+)VT2(+)	日本国内 不明
			H19.11.13	血清型: O157 産性毒素型: VT2(+)	日本国内 経口感染
			H19.11.22	血清型: O157 産性毒素型: VT2(+)	日本国内 不明
			H19.11.28	血清型: O157 産性毒素型: VT2(+)	日本国内 不明
		* VT1:ベロ毒素型 VT2:ベロ毒素型			
四類感染症	E型肝炎	0	H19.11.1		日本国内 経口感染
	A型肝炎	1	報告なし		
	デング熱	1	報告なし		
	マラリア	1	報告なし		
	レジオネラ症	6	H19.11.16	肺炎型	日本国内 不明
五類感染症	アムノ赤痢	11	H19.10.29	腸管アムノ症	日本国内 同性間性的接触
			H19.11.14	腸管アムノ症	ミャンマー 経口感染
			H19.11.14	腸管外アムノ症	タイ 経口感染
	ウイルス性肝炎	2	報告なし		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	4	報告なし		
	後天性免疫不全症候群	7	H19.11.1	無症候期	日本国内 同性間性的接触
			H19.11.26	無症候期	日本国内 同性間性的接触
	シアルリア症	1	報告なし		
	梅毒	1	H19.11.20	早期潜伏梅毒	日本国内 異性間性的接触
	急性髄膜炎	2	報告なし		

疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第48週、H19.1.1～H19.12.2)



H18 { 滋賀 (solid red line)
全国 (dotted red line)

H19 { 滋賀 (solid blue line with dots)
全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第48週、H19.1.1～H19.12.2)

H18 〔 滋賀 ————
 全国 - - - - -

H19 〔 滋賀 ●—●—●—
 全国 - - - - -

